

事業活動報告書（ホームページ用）

1 学校名 葛飾区立東四つ木小学校

2 令和7年度の活動目標

- ・高齢者や障がいのある方と接したり疑似体験をしたりして、福祉やボランティア活動への理解や感心を高める。
- ・様々な体験を通して、思いやりの心を育み、地域社会の一員として、共生することの大切さを実感させる。

3 活動の様子



【児童の感想】

- ・見えない怖さを体験できた。周囲の状況を分かりやすく伝えることが難しかった。
- ・困っている人がいたら声を掛けたい。
- ・表情や体の動きを通して伝えようとする気持ちが大切だと分かった。

4 活動の成果

4年生では、総合的な学習の時間で「福祉」について学んだ。福祉とは、「普段の暮らしを幸せに」する活動の取り組みのことであることを理解した。それぞれが自分の知りたい福祉を課題設定し、情報を集め、発表会へつなげていき、その中で、児童の選んだ課題にも多かった目の不自由な方への福祉という視点から「アイマスク」、実生活でも身近で経験した児童もいる「車いす」を体験させていただけた。

アイマスク体験では、視覚障害の方の視界の様子や点字ブロックの形の違い、SOSサインについて学んだ。実際に2人一組で視覚障害者役とガイドヘルパー役の両方を体験し、見た目では感じられない困難さを体感することができた。また、安心して歩行させるためには、分かりやすい言葉かけが必要で、言葉と同時に動作も適宜必要があることを実感した。体験活動を通して、視覚障害者の方への接し方と誰に対しても思いやりをもって手助けしていく大切さについて学ぶことができた。

車いす体験では、地域にお住いの下山利博さんにお越しいただき、下山さんが車いすを必要となった経緯や、日常生活の困難さなども講話していただいた。また、特別コースを作成し、乗車体験も行った。乗る側と押す側の目線を体験し、障害のある方の気持ちに寄り添って学習することができた。